

日本生体医工学会 平成29年度第5回理事会議事録

日時：平成30年3月14日（水） 14：00～17：00

会場：コンベンションホールAP東京八重洲通り 11階 Oルーム

<出席者>

副理事長：大城 理（兼関西支部長），山家 智之

理 事：佐久間 一郎（兼関東支部長），中村 真人（兼北陸支部長），橋爪 誠，
松本 健郎，村垣 善浩（遠隔出席），守本 祐司，
石原 謙（兼中国四国支部長），川田 徹，木村 裕一，黒田 知宏，
佐藤 嘉伸，平田 雅之，松田 哲也

監 事：牧川 方昭，澤 芳樹，吉田 正樹

<オブザーバー・出席者>

幹 事：京相 雅樹

オブザーバー：磯山 隆（事務局長），長谷川 純一（東海支部長），
井上 勝裕（九州支部長），岡本 英治（第57回大会長），
生田 幸士（第58回大会長），成瀬 恵治（第59回大会長），
椎名 毅（第60回大会長），永岡 隆（若手研究者活動WG委員）

<欠席者>

理 事 長：杉町 勝

理 事：花房 昭彦，野村 泰伸

幹 事：原口 亮

<配付資料>

資料 29-5-2-1 平成29年度第4回理事会議事録

資料 29-5-2-2 みなし理事会議事録

資料 29-5-3 入退会審査対象者

資料 29-5-4 APWG フェローシッププログラム選考結果報告

資料 29-5-5-1.1 臨床ME専門認定士合同認定委員会 覚書について

資料 29-5-5-1.2 臨床ME専門認定士合同認定委員会 繰越金処理の合意書について

資料 29-5-5-1.3 臨床ME専門認定士合同認定委員会 議事録について

資料 29-5-5-1.4 臨床ME専門認定士合同認定委員会 決算見込みについて

資料 29-5-5-1.5 臨床ME専門認定士合同認定委員会 委員リストについて

資料 29-5-5-1.6 臨床ME専門認定士合同認定委員会 制度概略について

資料 29-5-5-1.7 臨床ME専門認定士合同認定委員会 フレームワークについて

資料 29-5-5-1.8 臨床ME専門認定士合同認定委員会 今後の方針について

資料 29-5-5-2 CE委員会規程策定について

資料 29-5-6 平成 30・31 年度理事・監事選挙開票結果について
資料 29-5-7 臨床研究法への学会からの対応の現況
資料 29-5-8 生体医工学シンポジウム 2018 開催概要について
資料 29-5-9 医学部学生用のテキスト作成について
資料 29-5-10 2018 年学会大会の開催について
資料 29-5-11 九州支部 理事長交代について
資料 29-5-12-1 YIA に関する理事会報告書改定版
資料 29-5-12-2 講演会事業に関する事業
資料 29-5-13-1 関東支部選奨報告書について(2017-010)
資料 29-5-13-2 生体医工学シンポジウム 2018 ポスターアワードについて
資料 29-5-13-3 平成 29 年度各賞応募状況について
資料 29-5-14 平成 30 年度予算案について
資料 29-5-15-1 協賛等の状況 (回覧資料)
資料 29-5-15-2 日本医学会各会資料 (回覧資料)

1. 理事会成立の件 (総務)

大城副理事長より、14 名の出席が報告され、定款第 34 条に基づき、理事会成立が宣言された。杉町理事長欠席のため、定款第 23 条に基づき、大城副理事長が議長を代行した。

2. 議事録確認の件 (総務)

(1) 前回議事録承認の件

大城副理事長により、資料 29-5-2-1 に基づき、前回議事録の確認が行われ、原案通り承認された。

(2) みなし理事会議事録承認の件

平田理事により、資料 29-5-2-2 に基づき、説明があり、原案通り承認された。

3. 入退会状況の件 (会員)

資料 29-5-3 および回覧資料により状況の確認が行われた。

4. APWG フェロウシッププログラム選考結果 (国際)

松田理事より、資料 29-5-4 に基づき説明があり、1 名の選定について提案があり、原案通り承認された。

5. 臨床 ME 専門認定士合同認定委員会の件

守本理事より、資料 29-5-5-1 に基づき説明があり、従来通りの認定活動を続けながら認定委員会の未整備の点について検討・整備してゆくことが提案された。特に現在共同で運営している医療機器学会、業務委託している CE コーポレーションとの役割・負担等の分担について整備する必要があるとの説明があった。特に会計上の分担については重要事項であるので優先して検討すべきであるとの意見があった。審議の結果、2017 年

度までの繰越金および赤字分は両学会で折半することが決議された。また、2018年度以降においては、特に経理的事項に関する分担は50%ずつまたは生体医工学会がすべて担当する方法の2案を提案して調整してゆくことが承認された。

6. 平成30・31年度理事・監事選挙開票結果について（選挙管理）

川田理事より、資料29-5-6に基づき結果について報告があり、今後、事務手続きを行うことが確認された。また、選挙時に送付された文書の改定案が提示され、了承された。続いて理事より、ペーパーレス化について提案があり、検討してゆくことになった。

7. 臨床研究法への学会からの対応の現況（臨床研究法WG）

木村理事より、資料29-5-7に基づき説明が行われ、医工学領域全般に対する影響が大きいことを確認し、法律に関する周知、理解をすすめてゆくこととなった。具体的には、4/1の臨床研究法施行前にこの旨を会員に周知し、続いて、1月の理事会で審議した臨床研究法に対する学会からのパブリックコメント、及びこれに対する厚生労働省からの回答についてアナウンスすることとなった。尚、パブリックコメントの周知に当たっては、連名に立って頂いたコンピューター外科学会のご意向を伺うものとする。また、会員からの質問や情報収集のために使用する集約アドレスを@jsmbe.orgの下に作成することとなった。

村垣理事より、古川俊治議員を委員長とする自由民主党委員会への出席依頼があり、臨床研究法施行後の臨床医と工学系研究室の懸念を、厚生労働省、PMDA、AMED関係者に伝え、国会議員とともに対応を求めた。

8. 生体医工学シンポジウム2018開催概要について（シンポジウムWG）

大城副理事長より、資料29-5-8に基づき説明があった。実施予算案について、ポスターアワードの選奨規定について、提案され、原案通り承認された。

9. 医学部学生用のテキスト作成について（ME教育WG）

平田理事より、WGとしては、来年度テキスト作成に向けて内容の検討と執筆を開始する旨報告があった。この活動に向け、必要経費拠出の要請があり、承認された。

10. 2018年学会大会の開催について（第57回大会運営委員会）

岡本大会長より、資料29-5-10に基づき説明・報告があった。

11. 九州支部の支部長交代について（支部）

井上九州支部長より、資料29-5-11に基づき説明があり、原案通り承認された。

12. 若手活動WG報告（若手活動WG）

（1）YIAに関する理事会報告書改訂版

永岡若手活動WG委員より、資料29-5-12-1に基づき、予算案や参加者について等説明があり、予算案について承認された。

(2) 講演会事業に関する資料

永岡委員より、資料 29-5-12-2 に基づき説明があった。

また、サマースクールの実施について準備状況の報告があった。複数回参加者の割引制度について提案があり、会員のみ限定すべきとの意見があり、検討を進めることとなった。

1 3. 選奨委員会からの審議事項について (選奨)

松本理事より、資料 29-5-13-1、29-5-13-2、29-5-13-3 に基づき、関東支部選奨報告書について、生体医工学シンポジウム 2018 ポスターアワードについて、各賞応募状況について説明があった。資料の内容について了承された。また、各賞の審査日程について、4月15日を目安として終了し、その結果をメール審議にかけ、4月末までに候補者を決定することとなった。

1 4. 平成 30 年度予算案について (財務)

村垣理事より、資料 29-5-14 に基づき説明があった。委員会ごとの予算案について、理事より算定根拠等に関する質問、コメントがあり、質問等に対する各委員会からの回答は1週間以内に提出する旨確認された。

IFMBE Traveling Fellowships 積立基金および荻野賞積立基金の取り崩しについて承認された。

荻野賞積立基金については従来の寄付による賞金拠出ができなくなったため、基金を取り崩すこととなった。今後の運用方法については投資運用などを含めて検討することとなった。

また収支の傾向、推移について理事会で提示してほしいという意見があり、全体的な状況が分かるような資料を作成し、次回の理事会に提示し、説明することとなった。予算案および事業計画案については承認され、軽微な修正については各委員会からの回答を踏まえて行ってゆくことになった。

1 5. 報告・回覧 その他

(1) 支部の活動について

井上九州支部長より、支部の予算について、事業計画について、スケジュールに関する質問があり、確認することとなった。

(2) 理事会における支部長の役割について

大城副理事長より、支部長を理事にしてはどうかとの提案があり、検討してゆくことになった。

(3) 2019 年学会大会の開催について (第 58 回大会運営委員会)

生田大会長より、2019 年に沖縄で開催される大会について、準備状況に関する報告があった。